



Brush up Program
for professional



大学発

医療・
介護

- ・ 修士号
- ・ 特定行為
- ・ 学会認定資格
が取得可能

文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム」

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。

周麻酔期領域の教育は基礎医学と臨床医学が特に重要であり、臨床では行為や使用する薬剤が人命に直結する超急性期の医療分野であるために、十分な時間をもっておこなうべきであり、幅広い視野からの教育が求められます。

近年、手術症例の高齢化が加速してきており、手術のリスクだけでなく、基礎疾患の存在によるリスクがあるなど、医療の高度化が進んでいます。そのため、麻酔科医と協力することで、周麻酔期医療の安全と質の保障、さらなる向上を目指すのが周麻酔期看護師です。

周麻酔期看護学領域

■看護学分野 周麻酔期看護学領域 修了要件及び履修方法
◎履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
共通科目	2単位	5単位以上	<共通科目> 「研究倫理特論」(2単位) 必修 <共通科目> 「修士課程のための研究法入門」(2単位) 「疫学概論」(2単位) 「医学概論」(2単位) 「臨床医学(発展)」(1単位) 「症例に基づく病理学」(1単位) 上記、共通科目の5科目から5単位以上選択必修
専門科目			「高度実践フィジカルアセスメント」(2単位) 「高度実践薬理学」(2単位) 「高度実践病態生理学」(2単位) 「周麻酔期看護学講義(状況に応じた診断・治療)」(1単位) 「周麻酔期看護学(医療安全学)」(2単位) 「周麻酔期看護学(特定行為実践)」(2単位) 「周麻酔期看護学講義(薬理学および麻酔管理)」(1単位) 「周麻酔期看護学講義(モニタリングおよび術前・術後評価)」(1単位) 「周麻酔期看護学講義(術中術後の合併症)」(1単位) 「周麻酔期看護学演習(周麻酔期基礎技術)」(2単位) 「周麻酔期看護学演習(麻酔中のモニタリング)」(2単位) 「周麻酔期看護学演習(術前・術中・術後評価)」(2単位) 「周麻酔期看護学演習(周麻酔期における合併症)」(2単位) 「周麻酔期看護学実習Ⅰ」(2単位) 「周麻酔期看護学実習Ⅱ」(6単位) 「周麻酔期看護学研究法」(2単位) 「周麻酔期看護学課題研究」(6単位) 計38単位必修
小計	40単位	5単位以上	
合計	45単位以上		